

やまが

平成29年8月1日 発行／山鹿市議会

市議会だより

第14号



郷土芸能伝承部(鹿本農業高校)

もくじ ▶

市議会災害対策支援本部規程	P2
熊本県市議会議長会、傍聴のご案内、議会報告会開催	P3
常任委員会審査と報告	P4~6
市政のここが聞きたい(一般質問)	P7~10
審議した議案と結果一覧・主な議案	P11
議会の主な動き・表彰受賞他	P12

▶▶ 市議会災害対策支援本部規程を策定 大規模災害発生時の議会の対応

山鹿市議会災害対策支援本部規程（要約）

〈趣旨〉

大規模災害が発生した際、市災害対策本部と連携し、議員の適切かつ迅速な対応により、市の災害対策を側面より支援するため定めるもの

〈本部の設置〉

議長は、市災害対策本部が設置された場合、市議会災害対策支援本部を設置

〈所掌事項〉

- 議員の安否確認
- 市災害対策本部より災害情報の報告を受け議員に情報提供
- 議員からの災害情報を収集・整理し、市対策本部への情報提供
- 被災地域及び避難所等の調査に協力
- 必要に応じて国・県等への要望

〈組織〉

- 本部長は議長を充て、支援本部を総括
- 副本部長は副議長を充て、本部長を補佐
- 本部員は他の議員を充て、支援本部の事務に従事、規定する活動方針に基づき活動

〈本部員の活動方針〉

- 自らの安否・連絡場所の報告、連絡体制の確立
- 情報提供を受け、地域の防災活動の推進
- 被災地域及び避難場所等で情報を収集、本部へ報告
- 被災地域の救援活動への協力
- 被災者の相談に応じ必要な助言等を行う

〈支援本部への参集〉

- 支援本部を設置した場合、本部長・副本部長は参集
必要に応じて本部員の参集

〈庶務〉

- 支援本部の庶務は議会事務局において処理
- 議会事務局長は、市対策本部の会議に出席し、情報収集に努め、支援本部に情報提供



菊池川水防演習（山鹿大橋）

市議会では、本年2月の県市議会議員研修において、「災害時における議会の対応」の講演を伺った。本市において大規模災害が発生した場合の、市議会の現在の対応状況を検討し、昨年の熊本地震発生時の対応などを踏まえ、このたび、山鹿市議会災害対策支援本部規程を策定。

どのような事態となっても、速やかな行動ができる体制を整えることを確認した。

熊本県市議会議員研修会報告〈2月6日 熊本市〉

■ 演題

「災害時における議会の対応」

■ 講師

同志社大学教授 新川 達郎 氏

■ 内容

- ・ 災害に向き合う議会 ・ 災害対策基本法と地域防災
- ・ 議会の災害対応 ・ 議会防災体制の整備 ・ 議会業務継続計画
- ・ 災害復興における議会の役割
- ・ これからの議会の災害対策のために など



▶ 熊本市議会議長会が山鹿市で開催! ◀

第263回熊本市議会議長会が、平成29年4月12日に山鹿市役所で開催されました。

会議には、県下14市の議長及び議会事務局長はじめ、地元から山鹿市長、山鹿市副議長、各市事務局職員の42名が出席し、役員改選、会務報告及び議案に対するの活発な意見交換がなされました。

会議後に行った研修会では、山鹿市独自の取り組みである『「やまがメイト」による地域コミュニティの活性化』と題し、情報システム広報課の事業内容の説明に、皆熱心に聞き入っておられました。



議長会



▶ やまがメイトからも定例会の質疑・一般質問の動画を
見ることができます

本会議や常任委員会の傍聴にお越しになりませんか。

どなたでも議場での本会議や会議室での常任委員会の傍聴ができます。市役所5階までお越しください。(傍聴可能な人数や傍聴中の注意事項等制限があります)

共通注意事項

- ・必ず受付用紙に記入をされ傍聴券を受け取ってください。
- ・本会議では議長、委員会では委員長の指示に従ってください。
- ・パソコン・タブレット類の機器の持ち込みはできません。
- ・携帯電話の電源はお切りください。
- ・写真撮影や録音等は行えません。
- ・拍手その他の方法により可否を表明することはできません。

本会議傍聴の方法

- 1 傍聴人の定員は先着40名までです。
- 2 定員を超えた場合は501会議室モニターでの傍聴となります。
- 3 入退場は自由ですが静かにお願いします。

常任委員会傍聴の方法

- 1 委員長が退室を命じた時は速やかに退室をお願いします。
- ※委員会日程は、現地調査等により午後から審査の可能性ありますので事前に事務局へお問い合わせください。



◀ 市役所5階
(傍聴受付)

議会報告会開催決定!

平成29年度議会報告会を開催します。皆さまのご参加をお待ちしております。



昨年の議会報告会の様子(ひだまり)

開催日時

9月27日(水)

午後7時～午後9時

会場

山鹿市民交流センター
中会議室

日本遺産に決まる

米作り、二千年にわたる大地の記憶〜菊池川流域「今昔」水稲「物語」〜

◆付託案件 議案2件…可決
◆現地調査

- ①日本遺産 条里跡及び御宇田井手
- ②旧川辺小学校

◆主な審議内容

議案第38号 山鹿市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

問

育児休業の対象者とこれまで男性職員で何人が取得しているか。

答

対象は男女職員である。合併後は、男性職員の育児休業者は4人、育児部分休業者は2人が取得している。

(関連質問)

問

病気(精神的)疾患での休職者数・復職条件とその対策は。

答

本年5月末時点での休職者は4人(うち精神的疾患は2人)。復職には、慣らし勤務を行い、医師の診断書を提出の上、復職審査を行っている。また、メンタルヘルス対策としては、去年からストレスチェックを導入し、ケアに努めている。



議案第40号 平成29年度山鹿市一般会計補正予算(第1号)

問

人材育成基金はどんな事業に組み入れているのか。

答

山鹿市人材育成基金条例(平成17年1月15日施行)でその用途は決まっている。今回は、地域づくり市民塾に122万円、地域医療提供体制充実事業820万円、介護人材育成支援事業366万円を組み入れている。

問

消防署における新型車両はどんなものか。

答

東分署に高規格救急自動車1台(四輪駆動・高度救命処置用資機材一式)を、山鹿消防署に広

問

報車1台(四輪駆動・広報用マイク及びアンプ他)を購入する。小学校で空調整備がないのはどこか。今後は再編・統合時に整備するの否か。

答

八幡・平小城・三岳・来民・稲田・中富小学校である。今後の再編・統合時に空調整備も予定している。

問

カルチャースポーツセンターに今後建設される多目的グラウンド・テニスコートのナイター照明は。

答

テニスコートに8面のうち4面分(6基)、多目的グラウンドに半面分(野球場側5基)となっている。

問

菊池川流域日本遺産協議会費30万円は他の市町も同額か。

答

玉名市・菊池市・和水町も同額である。最初の活動資金とする。

問

菊池川流域日本遺産に対する国の補助金は。

答

今年の7月1日に交付額が決定する。申請は4700万円しているが、ヒヤリングなどを経て、4000万円程度が決定される。平成29年度から3カ年間、100%の補助を申請する。

現地調査

①日本遺産 条里跡及び御宇田井手

菊鹿町あんの丘より、鹿本町庄平野を見ながら、条里の跡地を確認した。旧稲郷中学校の跡地もこの区画に入っている。

条里制とは、古代の土地改良区制度で、1町(約109メートル)四方の区画を1坪とし、坪を6×6に並べた区画を里と呼んだ。

また、条里を潤す御宇田井手と、鹿本町津袋橋そばにある給水を7対3に分ける円形分水を視察した。

②旧川辺小学校

(ミニユニティーセンター建設予定地)

旧川辺小学校跡地に建設されるコミュニティセンターの予定地とその建設物の模型を使って説明を聞いた。いろいろの機能を持ったセンターとして地域の活性化に貢献するものと期待されている。



津袋地区 円形分水

「三世代同居住宅支援は？」(移住定住促進事業)

◆付託案件

議案7件…承認・可決
請願1件…不採択
陳情1件…継続審査
現地調査

◆主な審議内容

- ① 廃棄物処理施設(石)
- ② 小規模多機能型居宅介護事業所
いつでんどこでん(古閑)
- ③ 指定障害者支援施設
なぐら学園(合里)

◆議案第40号 平成29年度山鹿市一般会計補正予算(第1号)中所管移住定住促進事業

問

三世代同居住宅支援の対象、実績は。空き家バンク活用促進事業の実績は。

答

三世代支援の対象は親世代が1年以上市内在住していること、子、孫、曾孫が新たに転入し三世代同居となることが要件。実績は新築1軒・改築1軒で移住6名。空き家バンクでは改修4軒・引越し2軒で移住10名。

問

空き家バンク活用希望はあると思うが、どういった調査を行うのか。

答

昨年の現地調査データ(1012件)により、空き家と思われる物件の持ち主に調査票を送り、バンク登録を依頼する。



空き家バンク登録家屋(上永野地区)

答

今年度ホームページで公募し、2事業所からの計画が提出された。今後、1事業所を選定し整備していく。

問

地域分散で整備してほしい。

答

8つの日常生活圏域に計画を持つているが、まず応募が上があったところから選定し、整備していく。

現地調査

① 廃棄物処理施設

造成工事状況を完成予想図により説明を受けながら調査。

平成31年4月操業開始予定。水害なども想定し、焼却炉投入口を2階部分としている。そのため、建物基礎部分の掘下げが少なく工期も短くなる。

建物左手前は芝生広場として、市民が憩うことができる場所、また、災害時においては、災害ごみなどの保管場所として活用する。

施設内の雨水を国道側へ流さない為の調整池を造成する。

施設への出入りに障害となる箇所(植栽で見通しが悪いなど)の改善を予定しているなどの説明があった。

② 小規模多機能型居宅介護事業所 いつでんどこでん

「認知症になっても地域の中で普通に暮らせる」ことを目指し、通いを中心に訪問や泊りを組み合わせたサービスを提供する事業所で地域共生ケア拠点としての位置にあるとの説明があった。

③ 指定障害者支援施設 なぐら学園

「その人らしい当たり前の暮らしと自立」を求めて「をモットーに知的・精神障がい者に対して日常生活上必要な支援を行い、「農」と「福祉」の連携、生活介護の活動において特に農作業に力を入れている。農業は障がいの特性や程度に応じた作業が多くあること、地域農業従事者の高齢化、担い手不足などの課題へ一助となるのではと事業拡大を進めているなどの説明があった。

問

昨年度予算で小規模多機能事業は該当がないと減額したが、新たな応募か。

議案第41号 平成29年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)介護基盤緊急整備特別対策事業



いつでんどこでん(古閑)

山鹿シルク稼働!

◆付託案件 議案1件…可決
◆現地調査

- ① 菊鹿ワイナリー予定地
- ② カルチャースポーツセンター造成地

◆主な審査内容

議案第40号 平成29年度山鹿市一般会計補正予算(第1号)中所管

問 ワイナリーで販売予定の商品にはどのようなものがあるのか。

答 「ANA総研」に依頼し、山鹿栗を使ったスイーツのほか、山鹿産のお茶を使ったお茶スタンド、さらには市の農産物を生かした商品展開を行う予定である。

問 ワイナリーの交流エリアの利用法は。

答 各種イベントの実施と団体客へのおもてなし空間として使用する。「地域ブランドینگ協会」にコンサルティングを依頼している。

問 ワイナリー施設の支援について

答 「熊本ワインファーム」が整備する醸造所等の建設支援に、参入企業定着支援事業で8000万円を予算化。内訳は県から4000万円、市から4000万円を計画。

問 あつまる山鹿シルクの本格操業時期は。

答 試験操業を5月に開始し、4万頭を飼育している。本格操業は現在の試験操業を経て、時期を見極める。本年11月に開催される「シルクサミット」での製品展示を計画している。

問 11月山鹿市で開催の「シルクサミット」の内容は。

答 著名人や海外有識者による講話、また都市間連携の発表等を検討。意見交換会、海外のシルク産業との関係構築に向けた議論等を行う。400人程度の参加を計画、世界に情報発信をする。

問 山鹿灯籠ジャパンブランド構想の具体策は。

答 平成30年の灯籠祭りをファーストステージと位置づけ準備。東京五輪までの数年が国内外へ発信する絶好の機会と捉え、山本寛斎氏と引き続き首都圏等でのPRに努める。

問 守るべきものはしっかり継承しつつ市民との合意を得て、青年団体等地元関係者との意見交換の場を定期的に持ち、全体プログラムの見直しやお祭り広場、豊前街道等での演出など、新たなチャレンジも段階的に取り入れる予定。

問 灯籠祭りの常設スタンドの計画は。

答 千人灯籠踊りの環境整備のため、山鹿小学校の南側全体、それと大宮神社側の一部について1400席ほど概算。教育委員会と相談しながら、学校行事等にも利用できるような安全性を考慮して設計する。



問 農業担い手支援総合対策事業とは。

答 新規就農者の就農当初の支援など、早期の安定経営に寄与することや、農地の集積を促すことにより地域の維持発展につなげ、組織や法人への支援により地域農業の活性化を図る。

問 観光誘客宣伝推進費の内容は。

答 テレビCM、全国版の情報誌掲載に約90万円、地元の新新聞、雑誌の広告費で約60万円、計150万円程度の予算を計上。「探訪なび」は4カ国語対応をし、サイトシステム保守料のほか、SNSも頻繁に更新するため、維持管理費として230万円を計上。

問 国道3号植木バイパスの現在の整備状況は。

答 計画延長としては9.3km。2工区は、暫定2車線での供用を開始。植木バイパスの1工区については延長が3.7kmで、植木インターチェンジから国道3号、玉名市方面に向かう208号線が田原坂周辺に接道する形になる。

問 歴史的地区環境整備街路事業について。

答 日吉町線3工区歩道改修工事については、バスセンターの前から豊前街道に上がる交差点までの歩道を改修。延長は200m。歩道の幅が1.5mの両サイドとなっている。

問 一里木団地地盤沈下改修工事について。

答 昨年度、地盤沈下が発生したため、今年度において改修工事を行い、あわせてどういう状況か地盤の調査をする。

問 統一感のある公共サイン整備について。

答 崇城大学のデザイン学科の先生に委託して計画を立てている。

現地調査

① 菊鹿ワイナリー予定地

道路や駐車場、6次産業化連携推進施設、広場の整備が進んでいることを確認。

② カルチャースポーツセンター造成地

駐車場やテニスコート等の造成地を現地調査。水捌けの問題などが解消されていることを確認した。

質問 日本遺産に認定されたことについて

日本の文化・伝統を物語る文化庁の「日本遺産」に「米作り、二千年にわたる大地の記憶～菊池川流域 今昔水稲物語～」が認定された。

- ①山鹿市として今後どう活用していくのか、取り組みの方針を伺う。
- ②市民への情報発信、児童生徒たちへの教育はどういった形で展開していくのか。

答弁:(教育部長)

- ①協議会を中心として事業を進める。主にガイド育成、情報発信、地域エリアブランド構築、説明看板設置等に取り組む。
- ②ホームページやSNS、広報での紹介やイベント等も含め積極的に行う。児童生徒へは教本を作成した上で、出前授業等で理解促進を図る。



田植え (維持地区)



服部香代議員

質問 男女共同参画推進の取り組みについて

第2次山鹿市男女共同参画計画が女性活躍推進法と一体となったものとして策定されたが、山鹿市における課題及び施策等について伺う。

- ①市の管理職及び役付職員や審議会への女性登用促進について
- ②女性が働き続けられるための施策や事業所への働きかけについて
- ③今後の推進について

答弁:(総務部長)

- ①市職員の女性管理職等への登用は着実に進んでいる。20代一般行政職員は55.9%が女性であり、今後は管理職の割合も上昇すると考える。
- ②関係課等との連携により本年度は約50事業を全庁で取り組んでいく。事業所への実態調査は行っていないが、企業訪問等で実情を伺ってきた。実態調査は今後検討したい。また好評の働く女性を対象としたキャリアアップ講座等で女性活躍や人材育成につなげたい。
- ③女性が働き続けられるための具体的施策を通して、積極的な女性登用や仕事と家庭を両立するための環境整備に努める。



富田弘海議員

質問 市長説明要旨 第2の柱「経済をつくる」について

菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業、山鹿灯籠ジャパンプランド構想など「経済をつくる」取り組みの目指す方向性について伺う。

答弁:(市長)

菊鹿ワイナリー構想では、山鹿の上質な農産物を活用した商品を開発・販売し、山鹿の「食」の発信拠点とする。また、山鹿産農産物の品質向上や生産拡大に努め、地元雇用の拡大を目指す。

新シルク蚕業構想については、国内外へ向けたマーケティングの支援とともに、11月に「2017シルクサミット in 山鹿」を開催する。また、カイコは化粧品や医薬品など幅広い分野で研究が進んでおり、将来的には関連企業や研究機関を山鹿に集積し、ジャパンプランドシルクの一大拠点を目指す。

山鹿灯籠ジャパンプランド構想については、山本寛齋事務所のブランド力、発信力を生かした首都圏等でのPRとともに、平成30年の灯籠まつりを一つの完成型として「千人灯籠踊り」と「上がり灯籠」など先人から受け継いだ「伝統」を守りつつ、まつり全体として磨き上げていく。その先の姿として、まつりが市民の誇りとして魅力的であり続けるため、市民自らが企画・運営に携わり、磨き上げ続けるまつりを目指す。

これらの3構想を一体的に推進し、①生産者などの所得向上、②新たな雇用の受け皿づくり、③賑わいの創出へとつなげる。

今、山鹿は大きな良き流れの中にある。3構想に加え「日本遺産認定」があった。私は「オール山鹿」体制で、良き流れを更に大きなものとし、確かな戦略、大いなる情熱、不退転の覚悟をもって地方創生の実現に取り組む。



ワイン用ブドウ畑 (菊鹿町小伏野地区)

質問 防犯対策について

- ①防犯組織の現状と防犯カメラの設置状況及び他市の設置状況はどうか。
- ②防犯カメラの増設が必要と思われるが、いかがか。

答弁:(①総務部長②市長)

- ①防犯協会を中心に、登下校の見守り等を行う16団体が活動している。市の防犯カメラは、公共空間に全部で25台設置し、他市においては、公共空間や教育施設等に設置されている。
- ②犯罪の予防・抑止、解決のための証拠として有効であるが、プライバシー保護等の問題もあり、関係機関等と協議、検討していく。



永田 紘二議員

質問 方保田東原遺跡について

- ①方保田東原遺跡の現状と今後について問う。
- ②環境整備(展示施設・トイレ等)の声が上がっているが、市長に問う。

答弁:(①教育部長②市長)

- ①発掘調査の終了した所は、多目的広場等で憩いの場として活用している。今回、出土品の合計952点が国の重要文化財指定を答申され、文化財・観光資源として期待できる。今後展示を行いながら、情報発信に努める。
- ②活用方法を検討していくとともに、「山鹿の宝」を次代につなぐため、市民等の意見を聞き、保存と活用について国と協議しながら進めていく。

YAMAGA どんこフェスティバル

質問 農業後継者対策について

- ①農業後継者育成支援の中でも特に農業経営継承事業の内容、取り組みについて問う。
- ②この事業に対する取り組みについて、市長の思いを問う。

答弁:(①経済部長②市長)

- ①担い手対策事業として、さまざまな支援事業に取り組んでいる。農業経営継承事業は、後継者のいない経営者と新規就農希望者に継承するために実施し、関係機関と取り組み、支援するものである。今後調査をし、ニーズがあれば関係機関と推進する。
- ②実態調査を踏まえ、取り組みたい農家がいれば積極的に就農支援センターを中心に支援し、がんばる担い手を育て第1の柱「人を創る」第2の柱「経済を創る」につなげていく。



芋生 よしや議員

質問 財政調整基金について

- ①市民の暮らしは大変深刻、山鹿市の68億円もの財政調整金の目的・計画は何か。この4年間でも17億円積み増している、積立の説明責任を果たすべき。
- ②市長市政方針は「人を呼び込み、子育て支援充実、住みやすい環境、地域活性化」とある。負担軽減、暮らし応援に活用すべき。見解を問う。

答弁:(①総務部長②市長)

- ①災害対応など年度間の財源調整のため設置・保有しており、持続可能な財政運営を図る目的。年3回広報やまがで公表。
- ②市民の負担軽減、暮らし応援の取り組みも検討すべきと認識するが、施策検討・見極めを行い、基金活用を図る。

質問 国民健康保険税率の都道府県化について

- ①来年度から山鹿市の保険税率はどうなる。市民負担増の試算となった場合、負担を押しつけるのか。
- ②一般会計繰り入れを継続し、負担軽減すべきではないか。

答弁:(①福祉部長②市長)

- ①県からの最終的な標準保険税率設定は、来年1月提示で、市の税率はまだ示せず。急激な負担増となる世帯層が出てくる場合は、負担軽減策の検討も必要。
- ②国保税の重負担感は、十分認識している。軽減策を検討指示し、国保財政基金の活用を計る。一般会計繰り入れは慎重に判断。市民生活を守り安心を支える医療提供は市の責務として取り組む。

質問 住宅リフォーム助成制度の復活を

- ①5年間の利用件数や経済効果は。
一般的にリフォームが必要と言われる30年経過した住宅は何軒あるのか。
- ②熊本地震を受け、住・生活環境改善が望まれている。なぜ廃止したのか。地域経済活性化に有効で、以前よりも使い勝手の良い制度として復活を。

答弁:(①建設部長②市長)

- ①98件の利用、経済効果は補助額の10倍。30年経過住宅は13,500件。
- ②緊急経済・雇用対策として成果が上がったと判断し廃止したものであり、ご理解をいただきたい。



質問 高齢者の免許証返納と安全対策について

- ①山鹿警察署管内で、運転免許証を返納された方が何名おられるか伺う。
- ②山鹿市として返納者に対し優遇制度はあるか伺う。

答弁:(総務部長)

- ①山鹿警察署管内の自動車運転免許証の自主返納者については、直近の3年間の状況を見ると、平成26年が67人、平成27年が120人、平成28年が123人となっている。
- ②本市においては現在のところ優遇制度を設けていないが、先行市の取り組みを参考に検討していきたいと考えている。



北原昭三議員

質問 就学援助について

- ①就学援助の対象者数及び援助の状況はどのようになっているか伺う。
- ②新入学児童生徒への支給時期の前倒しをするには、今から確実に準備を進めていくことが必要と考えるが見解を伺う。

答弁:(教育部長)

- ①対象者数については、平成29年度当初認定者数が要保護者・準要保護者合わせて673名で、これは全児童生徒数の17.3%となっている。
また、援助の項目としては、「学用品費」や「通学用品費」、「校外活動費」、「修学旅行費」「新入学児童生徒学用品費」、「医療費」、「学校給食費」になっている。
- ②援助対象者数の調査や予算措置、要綱の改正や事務スケジュールの見直し等を整理しながら、判断を行っていきたいと考えている。

質問 公用車の管理とドライブレコーダーの設置について

- ①公用車の経費削減等についてどのような取り組みをしているか伺う。
- ②公用車へドライブレコーダーの設置について伺う。

答弁:(総務部長)

- ①定期点検の実施による長寿命化に努めるとともに、機動性と燃費効率の高い軽自動車を多用するなど、コスト削減に取り組んでいる。
- ②先行自治体での取組状況やその効果、画像データの管理・活用のあり方などを検証しながら、一般公用車への導入の是非について検討していきたいと考えている。



公用車駐車場



勢田昭一議員

質問 菊鹿ワイナリー構想について

- ①工事の進捗状況について伺う。
- ②ワイン原料用ブドウの作付け状況と課題について伺う。

答弁:(経済部長)

- ①平成28年度に用地の取得及び土地開発行為等の諸手続きを完了し、来年度3月を目途に建物の完成を予定。平成30年秋のワイナリーオープンに向けて事業を進めている。
- ②作付面積は、約9.5ヘクタール。栽培農家数は30戸。
これから生産拡大が見込まれる中で、生産農家の高齢化や労力不足による担い手不足を危惧している。

質問 新シルク蚕業構想について

- ①工場稼働と桑園の状況について伺う。
- ②研究機関との提携とこれからの計画について伺う。

答弁:(経済部長)

- ①4月に工場完成。5月中旬より試験操業中。桑園は、約25ヘクタールで約8万本の桑を植えている。
- ②熊本大学との包括連携協定を5月9日締結し、民間と大学との連携による事業推進体制を整えている。今後は地方創生の本旨である産学官の連携を基本に取り組んでいく。

質問 山鹿市内高校への進学率と中高連携について

- ①山鹿市内の4高校への進学率を過去2年の実績について伺う。
- ②中学校と高校との連携・今後の取り組みについて伺う。

答弁:(教育部首席教育審議員)

- ①平成27年度末は、511名の卒業生のうち317名で62%。平成28年度末は、441名の卒業生のうち280名で63%であった。
- ②中・高の連絡会を年に2回開催するとともに、入学後の1年生の授業参観や情報交換会に中学校の担任が参加し、出席状況や学習状況などを把握している。
熊本県教育委員会は、県立高校をコミュニティスクールに指定し、学校運営協議会を設置し、特に防災に関するテーマで地域住民や関係機関等と協議するとしている。近隣の小・中学校も連携し避難訓練等に協力したい。

質問 めのだけ小学校のスクールバス運行について

- ①各小学校の運行実態。
- ②過去の運行中止の有無。
- ③他校の実態を踏まえた運行体制への対応と、バス運行協議に保護者会を加えた4者での協議体制の構築。
- ④市所有のスクールバスの安全装置の設置状況は。

答弁:(教育部長)

- ①午後2便での運行。最終便は鹿北小学校、めのだけ小学校は16時台、菊鹿、山鹿小学校は18時台で運行中。
- ②過去4年間に運行中止はない。4月17日は現場の判断で運行中止を決めた。
- ③プール対応運行など現在策定に向けて調整中。今後は4者(学校・保護者・バス事業者・教育員会)での協議体制を整備する。
- ④全てにドライブレコーダーを装備する。



有働辰喜議員

質問 めのだけ小学校運動会開催時の駐車場確保について

答弁:(教育部長) 山鹿消防署、米田水源地跡、米田地区公民館等で230台分以上確保している。

質問 小学校スクールバス運行管理業務委託入札について

スクールバス(めのだけ小学校)

- ①入札日が遅いのはなぜか、入札制度も含めて改める考えはあるか。
- ②めのだけ小学校スクールバス運行管理業務委託入札の経緯と入札価格。
- ③1日単価表がコース変更も含め4回変更され、3回目の変更から国土交通省のガイドラインからすると点検整備時間2時間、運行時間3時間の合計5時間で良いのに明らかに過積算と思われる数値を採用した理由を伺う。

答弁:(教育部長)

- ①入札は従来どおり年度当初に実施したのは配慮不足だった。今後は入札時期、方法等熟慮の上実施したい。
- ②2社応札し、1社の応札額60,366,000円が下限価格を下回ったため残り1社79,240,800円を契約事業者とした。
- ③1日2回以上送迎を行うことや、通常の安全点検以外に室内整理、忘れ物確認など多岐にわたることから点検整備時間6時間、運行時間1時間の合計7時間とした。



立山大二郎議員

質問 日本遺産認定の活用策と博物館等の整備について

答弁:(教育部長)

博物館の老朽化、また方保田東原遺跡出土品の国の重要文化財指定や菊池川流域の日本遺産認定などを踏まえ、文化財関連施設の整備方針を確立する。



市立博物館

質問 動物の終生・適正飼育の支援体制について

答弁:(市民部長) 県は殺処分ゼロに向け「動物愛護センター」にて対策を強化。本市でも動物愛護推進員や獣医師会の協力のもと、啓発の拡充や指導を強化していく。

質問 本年度の有害鳥獣対策事業について

答弁:(経済部長) 駆除エリアを旧市町ごとから全市に拡大。防護柵や電気柵の設置、箱わな購入や新規狩猟免許取得の補助等を支援していく。

質問 山鹿灯籠ジャパンブランド構想推進事業の進捗について

答弁:(経済部長) 山本寛斎氏との事業は、首都圏をはじめ国内外に「山鹿」の知名度を向上させることが基本。「伝統」はしっかりと守り、一方では演出や運営面において磨き上げを図りたい。

質問 公共サイン整備事業について

答弁:(建設部長) 合併前に設置されたものが大半で、統一性がないことから、デザインを統一し、景観の向上、多言語表示等の設備を推進する。

質問 観光と市民生活向上のための道路整備について

市道及び農道の区分を超えた道路の補修等

答弁:(市長) 市が管理する道路から市の公共施設等につながるアクセス道路が「私道」のケースがあるが、管理すべき意義や根拠などを総合的に判断し推進していく必要がある。今後、関係部署や地元を交え協議検討する。

平成29年6月定例会における審議結果表

議案等番号	案 件	結 果
議案第35号	専決処分の承認を求めることについて (山鹿市税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第36号	専決処分の承認を求めることについて (山鹿市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第37号	専決処分の承認を求めることについて (山鹿市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第38号	山鹿市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第39号	山鹿市税特別措置条例の一部を改正する条例	可決
議案第40号	平成29年度山鹿市一般会計補正予算(第1号)	可決
議案第41号	平成29年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第42号	平成29年度山鹿市病院事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第43号	人権擁護委員の推薦について	同意
議案第44号	人権擁護委員の推薦について	同意
議案第45号	人権擁護委員の推薦について	同意
請願第1号	熊本地震被害者の住宅再建に関する請願書	不採択
陳情第2号	精神障害者の交通運賃割引を求める意見書採択のお願い	継続審査

賛 否 表

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
議 案	立山大二郎	小川 榮二	芋生よしや	勢田 昭一	有働 辰喜	服部 香代	富田 弘海	富丸洋一郎	藤本 峰秀	北原 昭三	芹川 正美	藤原 豊	平井 邦廣	吉本 政幸	池田 誠一	堀 茂幸	永田 紘二	横手 啓介	寺崎 勇児
請願第1号	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

上記以外の案件は全会一致で審議結果表のとおりとなりました。(議長は採決には加わりません)

【主な議案等】

議案第40号

平成29年度山鹿市一般会計補正予算(第1号)

約19億4700万円

・保育環境充実支援事業

約1億2100万円

・菊鹿ワイナリー6次産業化連携推進施設整備事業

1億円

・カルチャースポーツセンター整備事業

約2億1000万円

賛成討論

芋生よしや議員

◎請願第1号

熊本地震被害者の住宅再建に関する請願書

- 被災者生活再建支援制度の増額
- 一部損壊・半壊以上の住宅再建の支援策を強めること

熊本地震からの復旧復興。特に、住まいの再建に向けて支援拡大を国に求めるもの。

被災者生活再建支援制度は、「自然災害によりその生活基盤に著しい被害を受けたものであって経済的理由等によって自立して生活を再建することが困難なものに對し」「その自立した生活の開始を支援すること」を目的として、被災者の粘り強い運動と国民世論の高まりの中で成立。

大規模な自然災害発生たびに、全ての被災者の自立・再建を支援することを目指して、改正が重ねられてきた。

熊本地震の最大の特徴は、住宅と地盤の甚大な被害。住まいの再建なくして、暮らし・生業の再建や地域コミュニティの再生はない。

熊本地震被災者の切実な願いであり、支援制度の枠組み拡大は、今後の大規模災害発生時にも、重要で請願に賛成する。

議会の主な動き

4月	3日(月)	教職員辞令交付式
	10日(月)	めのだけ小学校開校記念式典
	11日(火)	市内小中学校入学式
	12日(水)	熊本県市議会議長会
	15日(土)	西南の役山鹿口戦没者慰霊祭
	19日(水)	全員協議会
	20日(木)	岳間溪谷キャンプ場開き 広報委員会
	21日(金)	灯籠制作開始祭
	24日(月)	市民福祉常任委員会協議会
	27日(木)	九州市議会議長会理事会・定期総会
28日(金)	百歳到達者表敬訪問	
5月	13日(土)	オムロンハンドボール部ファン感謝祭
	14日(日)	菊池川水防演習
	17日(水)	全国自治体病院経営都市議会協議会理事会 定期総会
	19日(金)	議会運営委員会
	23日(火)	全国温泉所在都市議会議長協議会役員会 定期総会 熊本県市議会議長会
	24日(水)	全国市議会議長会定期総会
	25日(木)	百歳到達者表敬訪問
	26日(金)	6月定例会開会 全員協議会
6月	1日(木)	質疑・一般質問
	2日(金)	質疑・一般質問
	5日(月)	建設経済常任委員会
	6日(火)	市民福祉常任委員会
	7日(水)	総務文教常任委員会
	8日(木)	議会運営委員会
	9日(金)	百歳到達者表敬訪問
	12日(月)	6月定例会閉会 全員協議会
	20日(火)	広報委員会

行政視察

ようこそ山鹿市へ

- 4月18日 富山県滑川市 さくら湯再生事業について
- 5月11日 埼玉県戸田市 認知症支援体制の構築事業について
- 5月12日 熊本県大津町 市庁舎建設事業について
- 5月16日 新潟県見附市 肝いりどん(結婚支援)事業について

全国市議会議長会表彰受賞

5月24日に開催されました「第93回全国市議会議長会定期総会」(東京)において、市議会議員として、長きにわたり地方自治の発展と振興に貢献された功績により、3人の議員が表彰を受けました。



藤原 弘 氏 (議長4年以上)
吉本 政幸 議員 (副議長4年以上)
富丸 洋一郎 議員 (10年以上)

【人事案件】

<人権擁護委員>

市長から提出された「人権擁護委員の推薦」については、次のとおり同意しました。

- 山鹿市西牧 池尻 和則氏 (新任)
- 山鹿市菊鹿町 丸山 信敏氏 (新任)
- 山鹿市鹿本町 安谷 美智子氏



広報委員 勢田昭一

この山鹿の米作りが日本遺産になったことを誇りに思えた。また、先人たちの残した功績の素晴らしさを実感した。

地元で暮らしているとわからないことがたくさんある。米作りの知恵と山鹿の良さを再発見する良い機会となった。

その時間はわずかであったが、その山鹿の米作りが日本遺産になったことを誇りに思えた。また、先人たちの残した功績の素晴らしさを実感した。

先日、東京在住の中学時代からの友人が帰省した。そこで、友人と一緒に内田川の津袋橋から御宇田井手の「円形分水」(水田へ水を取り入れる仕組み)をのぞいた。先日の総務文教常任委員会の現地視察でその役割を聞いていたので説明した。

編集後記